

## (3) 議会報告に対する質疑

番号	質疑の内容	
	(誤)	(正)
2	<p>緑の基本計画の中で緑化とあるが、能代市はあまり進んでいないと感じる。環境基本計画の中に、公共施設の緑化をはかるとあるが、ただ緑を増やせばよいというものではなく、適正な設計、適切な管理が必要で、市はまだまだできていない。</p> <p>例えば能代市の新庁舎、さくら庭は素晴らしい。しかし、屋根の下に木が植えられている。屋根の下だから雨があたりず枯れていた。</p> <p><u>1 m幅で植えられているがそれ以上に成長する。</u>成長のことを考えず整備されている。</p> <p>設計者、職員、庁舎委員会で見ていなかったのか。緑の基本計画に即したものになっているか、議会で問いかけてほしい。</p> <p>青森県十和田市には緑の<u>市</u>議会があり、条例もあるのでぜひ視察にいつてほしい。勝手に木を切れないことになっている。</p> <p>天空の不夜城の時に、市は県の管理の木を切った。街中の街路樹には200年、300年の木もある。全国一の街路樹である。価値をわかって保存していくことも考えてほしい。</p> <p>二ツ井テニスコートでは、プラタナスの2 m離れたところに桜の木を植えた。ソメイヨシノなので、成長すれば枝張りが10mくらいになることから、完全に成長できなくなる。現場に立ち会って植え直してもらった。工事が終わったあとで二度手間である。</p> <p>以前は、公園緑地課があり、管理体制や緑の啓蒙啓発などもしていた。今はやれていない。情報の一元化、連携、情報共有が大事。議員側も現状を把握していただき、視察をしてもらい市をよくしてもらいたい。</p>	<p>緑の基本計画の中で緑化とあるが、能代市はあまり進んでいないと感じる。環境基本計画の中に、公共施設の緑化をはかるとあるが、ただ緑を増やせばよいというものではなく、適正な設計、適切な管理が必要で、市はまだまだできていない。</p> <p>例えば能代市の新庁舎、さくら庭は素晴らしい。しかし、屋根の下に木が植えられている。屋根の下だから雨があたりず枯れていた。</p> <p>成長すれば1 m以上になる木を半分以下の間隔で植えられている。成長のことを考えず整備されている。</p> <p>設計者、職員、庁舎委員会で見ていなかったのか。緑の基本計画に即したものになっているか、議会で問いかけてほしい。</p> <p>青森県十和田市には緑の<u>審</u>議会があり、条例もあるのでぜひ視察にいつてほしい。勝手に木を切れないことになっている。</p> <p>天空の不夜城の時に、市は県の管理の木を切った。街中の街路樹には200年、300年の木もある。全国一の街路樹である。価値をわかって保存していくことも考えてほしい。</p> <p>二ツ井テニスコートでは、プラタナスの2 m離れたところに桜の木を植えた。ソメイヨシノなので、成長すれば枝張りが10mくらいになることから、完全に成長できなくなる。現場に立ち会って植え直してもらった。工事が終わったあとで二度手間である。</p> <p>以前は、公園緑地課があり、管理体制や緑の啓蒙啓発などもしていた。今はやれていない。情報の一元化、連携、情報共有が大事。議員側も現状を把握していただき、視察をしてもらい市をよくしてもらいたい。</p>

番号	質疑の内容	
	(誤)	(正)
3	<p>市には<u>グ</u>リーンパートナーがあるが、その代表で（<u>緑の基本計画</u>策定に）参加した。ボランティアは何でも協力するから、行政で体制をつくってほしい。道の駅ふたつ、河畔公園の時にも話したが、木を植えると支柱をつける。支柱から高く切るから痛みやすくなる。支柱のかけ方を工夫する、支柱を外すなど、縄がくいこまないように、もう根付いていたら外さなければならない。支柱の共通仕様書を市役所に提案している。道の駅は直った。河畔公園は2週間かけて直った。管理する人が直しても、工事する人、設計する人が理解しなければならない。管理する課でなく、設計を担当する課が分からないといけない。支柱は3、4年で解体が必要となるが、工事の担当者は異動していなくなり、伝わらない。そのためグリーンパートナーとして、この木、危ないよなどと伝えている。</p> <p>ゴミの看板も同様。木に針金が巻かれていて、死んでしまう。木の保護のため外してほしいが、取り付けは自治会に任せているとのこと。看板の設置箇所については周知が必要で、自治会に投げないで一緒にやってほしい。</p> <p>天洋酒店さんの並びに三角の立て札があり、そのようなもので能代らしさを生かしてほしい。材木関係も巻き込みながら、考えてほしい。</p>	<p>市には<u>ク</u>リーンパートナーがあるが、その代表で（<u>第二次環境基本計画</u>策定に）参加した。ボランティアは何でも協力するから、行政で体制をつくってほしい。道の駅ふたつ、河畔公園の時にも話したが、木を植えると支柱をつける。支柱から高く切るから痛みやすくなる。支柱のかけ方を工夫する、支柱を外すなど、縄がくいこまないように、もう根付いていたら外さなければならない。支柱の共通仕様書を市役所に提案している。道の駅は直った。河畔公園は2週間かけて直った。管理する人が直しても、工事する人、設計する人が理解しなければならない。管理する課でなく、設計を担当する課が分からないといけない。支柱は3、4年で解体が必要となるが、工事の担当者は異動していなくなり、伝わらない。そのためグリーンパートナーとして、この木、危ないよなどと伝えている。</p> <p>ゴミの看板も同様。木に針金が巻かれていて、死んでしまう。木の保護のため外してほしいが、取り付けは自治会に任せているとのこと。看板の設置箇所については周知が必要で、自治会に投げないで一緒にやってほしい。</p> <p>天洋酒店さんの並びに三角の立て札があり、そのようなもので能代らしさを生かしてほしい。材木関係も巻き込みながら、考えてほしい。</p>